



# か わ ま た 議 会 だ よ り

Main Contents 3月議会 (P2-8) / 一般質問 (P9-16) / まちれぽ (P19) etc...



子育てコミセン  
「マザッテ」開所  
子どもも大人も  
みんな笑顔に

もっと知ってほしい議会のこと  
誌面でつながる町議会



町議会HPはこちら

# Close UP

クローズアップ

# 3月議会



3月議会では何が決まったのか？



令和8年第2回議会定例会は、3月5日から19日までの15日間の会期で開催されました。

一般会計当初予算には、山木屋地区防災拠点施設や貸事業所など新たな施設の運営開始に伴う事業費が計上されたほか、旧飯坂小学校改修や川俣高校の学生寮の移転整備など、4年目となる町の第6次振興計画の4つの重点事業の実現を目指すための経費が盛り込まれました。議会では、予算決算常任委員会で集中的に当初予算を審議し、本会議で採決されます。同委員会での多くの議論を経て、予算を含め、議案は全て「可決」となりました。(予算審議の内容は4-5頁をご覧ください)

## 中学校体育館の熱中症対策

昨今の猛暑による熱中症対策として、川俣中学校の体育館に空調設備を設置するための工事費用。



1億2,250万円

## 川俣高校学生寮移転整備

川俣高校学生寮を移転整備するための費用。移転により定員が6名から16名となる。移転先は字宮町地内。



1億1,442万円

## 当初予算の主な事業は？

# オリナスかわまた、マザッテなど新たな施設の運営開始 etc…

### 貸事務所「オリナスかわまた」運営費用

4月1日開所の貸事務所「オリナスかわまた」の運営開始に伴う施設の指定管理料等を計上。



1,975万円

### 子育てコミセン「マザッテ」運営費用

4月1日に運営開始の子育てコミュニティセンター「マザッテ」の指定管理や敷地整備に係る費用。



1,071万円

### おりもの展示館リニューアル

シルクピアの一体的な魅力向上を目的に、おりもの展示館の改修リニューアルに向けた設計業務委託料。



2,000万円

### 町道の維持修繕費用

町道の舗装補修や側溝補修等のほか、降雪時の除雪作業委託料など町道の維持にかかる費用。

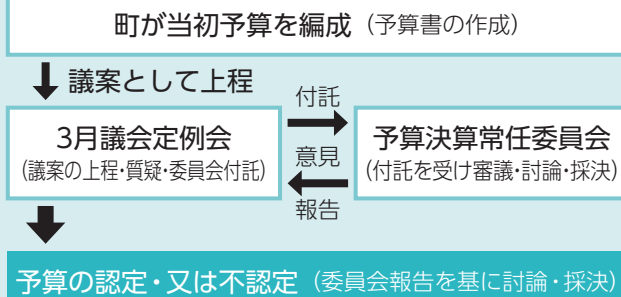


7,750万円

# ✓ 予算決算常任委員会報告



## 予算議決までの流れ



## 各課への意見は次のとおりです。

### 財政課

- (1) 当初予算の編成にあたり、財政調整基金の取り崩しが過去最大となった。いつ発生するか分からない災害など不測の事態に備えるためにも、安定的な財政運営を行うこと。
- (2) 旧飯坂小学校の活用について、今後の町財政への影響が大きくなることが想定されるが、未確定な部分が多いため、今後、議会に対し随時情報を提供すること。
- (3) 公有財産の増加に伴うランニングコストが、将来の町民負担とならないような方法で事業を進めること。
- (4) ふるさとづくり寄付金は、貴重な財源である。引き続き、幅広い返礼品の開発に努めるとともに、既存の返礼品についても魅力向上に努め、安定的な寄付の獲得を目指すこと。

### 総務課

- (1) 町防災行政無線について、予備の戸別受信機が十分確保されていることから、必要としている方にはすみやかに設置すること。
- (2) 消防団員の資質向上を図るため、必要な研修費等については早急に予算化すること。
- (3) 消防団の活動に支障が生じないよう適正な予算を確保すること。
- (4) 自主防災組織の設立と強化は、地域の防災力向上につながる重要な取組である。補助事業の周知を強化するとともに、積極的に各地域に設置に向けた働きかけを行うこと。

- (5) 議場の傍聴席の増設と事務局執務室の拡張について、早急に実現を図ること。
- (6) 高齢化の進行により、従来の広報配布などの維持が困難になりつつあるため、配布体制の見直しを図ること。

### 政策推進課

- (1) 移住・定住事業については、引き続き、町の魅力を効果的に発信する方法を研究するとともに、移住者に選ばれる自治体としての取組を強化すること。
- (2) 地域おこし協力隊については、卒隊後の隊員が地域に根差し、地域の課題解決に資する取組を継続しながら町に定着できるよう、起業・事業承継支援補助金の有効活用に努めること。
- (3) 町の地域公共交通については、利用者の声を積極的に吸い上げる機会を設け、費用対効果を追究しながら実態に合ったよりよい体制づくりを進めること。
- (4) 大学等との連携事業については、形式的な連携にとどまらず、将来的な町の発展に資する取組となるよう努めること。
- (5) 工業団地立地企業の収支状況等の把握に努め、より良い事業活動が展開されるよう、企業との連携に努めること。

### 町民税務課

- (1) 斎場の狭小さに対する町民の不満の声が多いことから、すみやかに対応策を検討すること。

## 保健福祉課

- (1) 在宅老人福祉対策事業など多くの事業の適切な執行、各種支援の連携により、引き続き、高齢者の福祉向上を図ること。
- (2) 既存の医療機関等と密に連携を図り、地域医療の充実に努めること。

## 農林振興課

- (1) 有害鳥獣捕獲事業については、引き続き、総合的な対策を講じること。
- (2) 各種イベント出店の費用が計上されているが、特産品の知名度アップや販路拡大につながる取組となるよう、方法等をよく検討し、実施すること。
- (3) 今後予想される燃油、肥料等の価格高騰に対しては、スピード感を持って適時的確に対応すること。

## 建設水道課

- (1) 町道改良については、改良が長期にわたっている箇所があるので、財源の確保と早期実施に努めること。また、路線箇所の選択と集中により、工期短縮についても検討すること。
- (2) 町営住宅等の空き部屋が多くなってきている。用途変更や入居対象の拡大など、柔軟な運用により、人口増、定住化につながる住宅施策をさらに推進すること。
- (3) 水道事業については、施設の老朽化が顕著であることから、広域連携の取組の強化など、将来にわたる安定的な運営ができるよう計画すること。

## 原住民力災害対策課

- (1) 住民支援については、帰還者の生活支援はもとより、未帰還者の実態把握に努めるなど、帰還促進に向けた取組を強化すること。

## 学校教育課

- (1) 川俣高校魅力向上推進事業については、今後、新寮の改修が進められるが、全国募集による生徒の生活に支障が出ることが無いよう計画的に事業を進めること。また、新寮移転後の現在の寮の活用方法については、これまでの改修費用が無駄にならないよう町当局と早期に協議すること。
- (2) 町内の高校生に対し、安全確保と教育機会の均等を図る観点から、通学負担の軽減策を図ること。
- (3) 学校給食については、さらなる地産地消の取組を図ること。

## 子育て支援課

- (1) 認定こども園事業について、4つの事業に補助金が交付されるが、引き続き、かわまた認定こども園との連携を強化し、教育・保育の質の向上に努めること。

## 生涯学習課

- (1) 前田遺跡の国史跡指定に向けた取組を着実に進めるとともに、広く町民に前田遺跡の魅力を発信し、文化財の活用を図ること。
- (2) 代官所跡の石碑は、早急にもとの場所に戻すよう協議を進めること。

## 会計室

特になし。

## 議事事務局

- (1) 議場の傍聴席の増設と事務局執務室の拡張について、早急に実現を図ること。
- (2) 議会中継システムの更新が予定されているが、開かれた議会の達成に資する取組となるよう、様々な方法を模索し、より良い方法で実施すること。

## まとめ

### 令

和8年度一般会計当初予算は、前年度比7・22%減の86億2500万円が提案された。

震災発生から15年が経過し、山木屋地区防災拠点施設や貸事業所、子育てコミュニティセンターなど、新たな施設の運営開始に伴う経費に加え、大綱木公民館整備や旧飯坂小学校改修に伴う事業費等が計上された。

また、川俣高校学生寮の移転整備や学校施設の熱中症対策等による教育環境のさらなる充実、里山や前田遺跡など町の宝を活用したPR事業など、4年目となる第6次振興計画の4つの重点事業の実現を目指すための予算編成となっている。しかしながら、当初予算が前年度比減となる中、過去最大の財政調整基金の取り崩しにより予算編成されたことは、今後の町財政の展望に大きな不安を残すものである。

町当局においては、これまで推し進めてきた第6次振興計画の3年間の成果と課題を検証し、事業を執行するだけでなく、今後ますます財源が限られる厳しい状況になることを自覚し、各事業の効率的で無駄のない事業執行を徹底すること。また、国際情勢の不安定化が急速に進む中において、様々な事態を想定し、経済対策やインフラ整備等予算の着実な執行により、適切に備えるとともに、適時的確な対応を求める。

以上の点について意見し、令和8年度各会計当初予算12件は可決すべきものとする。

なお、本委員会において再三にわたり指摘している事項については早期の解決を図ること。

また、審査報告書に対する対応状況については、文書で回答すること。

令和8年3月19日

# 3月定例会 議案の審議結果



今回の定例会で町から提案のあった議案は次の37件でした。それぞれの議案について審議が行われ、結果は記載の通りです。

議案番号	件名	審議結果
第2号	動産の取得について	可決（全会一致）
第3号	伊達地方消防組合中央消防署南分署建設敷地造成工事請負契約の一部変更について	可決（全会一致）
第4号	山木屋地区防災まちづくり拠点施設敷地造成工事請負契約の一部変更について	可決（全会一致）
第5号	山木屋地区防災まちづくり拠点施設新築工事請負契約の一部変更について	可決（全会一致）
第6号	大綱木公民館敷地造成工事請負契約の一部変更について	可決（全会一致）
第7号	川俣町過疎地域持続的発展計画の策定について	可決（全会一致）
第8号	辺地に係る総合整備計画の策定について	可決（全会一致）
第9号	川俣町いきいき長寿祝金給付条例	可決（全会一致）
第10号	川俣町山木屋地区防災まちづくり拠点施設の設置及び管理に関する条例	可決（全会一致）
第11号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第12号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第13号	川俣町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決（賛成多数）
第14号	川俣町社会体育施設設置条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第15号	川俣町火入れに関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第16号	川俣町町営住宅条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第17号	川俣町消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第18号	町道路線の認定及び変更について	可決（全会一致）
第19号	川俣町子育てコミュニティセンターの指定管理者の指定について	可決（全会一致）
第20号	損害賠償の額の決定及び和解することについて	可決（全会一致）
第21号	専決処分の報告及びその承認について (専決第1号 令和7年度川俣町一般会計補正予算（第5号）)	承認（全会一致）
第22号	令和7年度川俣町一般会計補正予算（第6号）	可決（全会一致）
第23号	令和7年度川俣町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決（全会一致）
第24号	令和7年度川俣町介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決（全会一致）
第25号	令和7年度川俣町工業団地造成事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第26号	令和7年度川俣町山木屋財産区特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第27号	令和8年度川俣町一般会計予算	可決（全会一致）
第28号	令和8年度川俣町国民健康保険特別会計予算	可決（賛成多数）
第29号	令和8年度川俣町介護保険特別会計予算	可決（賛成多数）
第30号	令和8年度川俣町後期高齢者医療特別会計予算	可決（賛成多数）
第31号	令和8年度川俣町奨学資金特別会計予算	可決（全会一致）
第32号	令和8年度川俣町工業団地造成事業特別会計予算	可決（全会一致）
第33号	令和8年度川俣町小島財産区特別会計予算	可決（全会一致）
第34号	令和8年度川俣町飯坂財産区特別会計予算	可決（全会一致）
第35号	令和8年度川俣町大綱木財産区特別会計予算	可決（全会一致）
第36号	令和8年度川俣町小綱木財産区特別会計予算	可決（全会一致）
第37号	令和8年度川俣町山木屋財産区特別会計予算	可決（全会一致）
第38号	令和8年度川俣町水道事業会計予算	可決（全会一致）

議員はどこに注目したか。

# 本会議での主な質疑応答

## 条例

●議案第10号

川俣町山木屋地区防災まちづくり拠点施設の設置及び管理に関する条例

Q 町民の防災意識高揚、地域コミュニティの維持向上等のための施設設置とすることであるが、具体的にはどのような整備となるのか。

(高橋清美議員)

A 山木屋地区の地域づくりの課題解決や住民の安全安心な環境整備のため施設を整備するものです。

(原子力災害対策課長)



●議案第13号

川俣町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

Q 医療保険に別な目的の費用を上乗せすることは税法上できるのか。また、特定世帯とは。

(石河ルイ議員)

A 今回、国保税の中に子ども子育て支援金(納付金)が入る形になりますが、これは各施行令で定められているものです。また、特定世帯とは夫婦など2人世帯のうち1人が後期高齢者になったことにより1人世帯となった世帯のことです。

(町民税務課長)

【反対討論】

国保税加入者は直接物価高騰のあたりを受けており、国民負担を増加させるもので本当の支援になっていない。国の責任で財源を確保すべきと考える。

(石河ルイ議員)

## 条例

●議案第28号

川俣町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

【反対討論】

子ども子育て支援金スタートし納付金が増える。医療保険に違う目的の税を加えることは反対である。また、賦課限度額も上がり負担増になる。子育て支援の拡充は国の責任で財源を確保すべきである。

(石河ルイ議員)

【賛成討論】

当初予算に反対すれば国保加入者にも様々迷惑がかかる。予算決算常任委員会委員長も可決すべきものと報告しているため賛成する。

(高橋清美議員)

### 議案採決表

議案	藤野 圭史	藤原 正	高橋 文雄	菅野 信一	山家 恵子	石河 ルイ	作田 善輝	蓮沼 洋志	高橋 清美	新関 善三	菅野 清一
第13号 川俣町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
第28号 令和8年度川俣町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○
第29号 令和8年度川俣町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
第30号 令和8年度川俣町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

○は賛成、×は反対

## ▼ 陳情の審査結果



5件の陳情を常任委員会に付託し、審査を行いました。

受理番号	付託委員会	件名	陳情者住所及び氏名	審査結果
1	総務産業常任委員会	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について	福島県伊達市保原町字舟橋180 日本労働組合総連合会 福島県連合会伊達地区連合会 議長 高橋 誠一	採 択 (意見書提出)
2	厚生文教常任委員会	保育所等に対する社会福祉施設職員等退職手当共済制度の公費助成の継続を求める意見書の提出を求める陳情書	福島県福島市渡利字大豆塚7 さくら保育園気付 福島県保育連絡会 代表 大宮 勇雄	趣 旨 採 択
3	厚生文教常任委員会	保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書提出を求める陳情書	福島県福島市渡利字大豆塚7 さくら保育園気付 福島県保育連絡会 代表 大宮 勇雄	趣 旨 採 択
4	厚生文教常任委員会	介護保険料の負担軽減のため、国庫負担割合を35%へ引き上げることを求める意見書に関する陳情書	福島市渡利字中江町66 福島医療生活協同組合内 福島県県北高齢期運動連絡会 会長 齋藤 和衛	趣 旨 採 択
5	総務産業常任委員会	再審法（刑訴法の再審規定）の改正を求める陳情	福島市舟場町3-26 日本国民救援会福島県本部 会長 鈴木 雅貴	趣 旨 採 択

## ▼ 議員提案



次のとおり意見書を提出しました。

意見書名	宛	先
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	内閣総理大臣 厚生労働大臣	福島労働局長

# 不妊治療支援を問う

## 答 不妊治療助成事業は今年度2件実施



山家 恵子 議員

**問** 保険適用後、町独自の助成制度はあるのか？拡充の検討の考えは。

**答** 県の助成事業に不妊治療・検査費用を上限20万、不育症治療・検査に上限15万を上乗せ実施。令和6年度から不育治療・検査を10万から20万に増額、加えて今年度より不育症治療・検査の助成を新たに実施している。

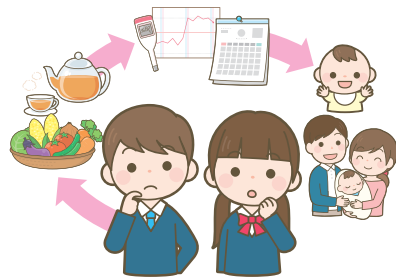
**問** 男性不妊の理解促進・啓発、専門相談の取り組みは。

**答** 専門性の高い相談には県不妊専門相談センターを案内、より広い意味と捉えて、プレコンセプションケアの普及啓発に取り組んでいる。

**問** 子どもを望む人を支える町としての基本的な考え方と今後の取り組みを問う。

**答** 男女が将来の妊娠、出産を見据えた健康的な生活習慣の改善や健康管理を推進していく事が子どもを望み産み育てていく若い世代への支援

に繋がる事から高校からプレコンセプションケアに取り組む。



※プレコンセプションケア：性や妊娠に関する正しい知識を身につけ、健康管理を行うよう促すことをさす

### ウィッグ等購入費助成の創設を

**問** 外見の変化に対する相談件数、実態の把握は？

**答** 福島県に寄せられた件数は令和4年度9535件、年々増加傾向。内容も多様化。

**問** 療養生活の質の向上、就業支援の観点からもウィッグ助成は重要ではないか。

**答** 町のウィッグの助成はないが、共生社会において非常に重要な観点と認識する。

### フードドライブ常設回収ボックスの設置を

**問** フードドライブの実施状況及び定期的な実施は。

**答** 令和7年2月町職員対象に実施し、社会福祉協議会に届けた。令和7年12月鶴沢婦人会がキッチンかわまたに届けた。定期的な実施はしていない。

**問** フードドライブを住民がいつでも協力できる仕組みを整える考えは。

**答** 町のイベントにあわせてフードドライブを実施するなど効果的な方法、仕組み作りを検討する。



# 山木屋に新たな産廃処分場 進出の動きがあるが

答 昨年7月以降、具体的な説明はなく進展はない



菅野 清一 議員



**問** 新たな処分場進出の予定地とその規模は。

**答** 事業者はミダックホールディングスという静岡県産業者で、場所はゴルフ場予定地で埋め立て面積は20ヘクタール、埋め立て容量は400万tの計画である。

**問** 昭和60年操業の富岡興行所有の旧産廃処分場の現状は。

**答** 平成21年、不法投棄による業の取り消しを受け、汚水処理は県の水質検査などを受けて放出している。この問題については1月下旬、二本松市長も来庁し、認めないで欲しいとの要請でお互い協力して取り組むことを約束した。

**問** これら大規模開発についてはきちんと条例の制定も検討すべきと思うが。

**答** 隣接自治体として二本松市長とも景観保護などの立場から一緒に取り組んでいくことを確認した。

**避難解除から9年  
復興の現状は**

**問** 原発事故前山木屋には65の事業者があつたが現状は。

**答** 令和8年現在、35の事業者が事業継続、うち24の事業者が山木屋地区外で事業を継続している。

**問** 避難解除の際交わされた確認書の協議の場は何回行われたか。

**答** 協議の場は設けていないが、復興大臣が来庁の際には要望書を提出して町の課題や復興の現状を説明している。この要望書は確認書に基づくものであることを明記している。

**令和8年の当初予算の  
基本的考えは**

**問** 財政調整基金を5億円取り崩す予算となったが財政運営は大丈夫か。来年度もこの

ような予算編成となるのか。

**答** 新規事業費や地方債の増額により財源不足が生じたため、来年度もこのような状況は続くものと思う。

**町職員の中途退職者や  
長期退職者が増えているが**

**問** 過去、5年間の中途退職者、また長期退職者は何人か？

**答** 中途退職者は5年間で計19名。長期退職者は5年間で計23名。退職者も退職者も理由は様々です。

**問** 町はこのような状況の具  
体対策は？

**答** 随時、職環境の改善や、個人面談や産業医との連携によって対応している。

# 東日本大震災のつどい等の 行事予定は

**答** 開催は現時点では考えていない



**問** 過去2回ほど原発事故被災町民大会を開催しているが、予定はあるのか。

**答** 一回目の開催は平成24年3月4日に、原発事故被災町民大会を開催。第一部では町民の意見発表、決議文の採択、二部では震災復興と自治体の役割についてご講演をいただいた。二回目の開催は、平成25年3月3日に、原発事故被災町民大会を開催。第一部では町民の意見発表、決議文の採択を行い、第二部では、震災復興と自治体の役割についてご講演をいただいた。今後、第三回の開催は現時点では考えていない。

**高齢者に対する  
支援策は**

**問** 町内地区別の高齢化率の状況は。

**答** 町全体の高齢化比率については45・2%である。

**問** 各種団体等への活動支援の内容は。

**答** 補助金を交付することにより、活動の支援を行っている。

**問** いきいき荘の利用状況は。

**答** 高齢者の利用は、全体の約8割を超える状況である。



高橋 清美 議員

**問** 敬老会開催の助成の廃止の経過は。

**答** 新たに祝い金支給年齢を拡充した敬老祝い金事業を始める。

令和8年度の  
重点事業は何か

**問** 第6次町振興計画に沿ったの1番の事業は。

**答** 子育て支援、移住・定住、活力ある産業、みんなの生きがいづくりに関連する事業。

**問** 中長期財政計画どおり進んでいるのか。

**答** それぞれ計画から大きく増加している状況である。

## 町内地区別の高齢化率

町全体 : 45.2%

地区	高齢化率
川俣地区	43.5%
鶴沢地区	39.7%
小神地区	40.6%
東福沢地区	44.4%
西福沢地区	56.4%
羽田地区	40.0%
秋山地区	55.0%
小島地区	50.8%
飯坂地区	48.9%
大綱木地区	51.6%
小綱木地区	48.7%
山木屋地区	56.6%

# 住民、福祉の向上について問う

**答** 安定した介護サービスが提供されていると考える



**問** 介護を取り巻く現状と対策について問う。

**答** 介護認定者数はほぼ横ばいであり、介護認定率の上昇が続いている。介護認定者の1人暮らしは150人虐待認定8件、生活相談18件、介護人材については人手不足が課題となっている。

**問** 保険料、利用料の負担軽減対策を問う。

**答** 公費による直接値下げを実施している。低所得者等の方に対し、施設入所の際の食費と居住費の減免を実施している。

**問** ふれあいタクシーの値上げを撤回する考えがあるか問う。

**答** 令和8年1月に540円から700円に値上げしたが、運賃の値下げについては考えていない。土日の運行についても利便性が高まるような制度設計をしていく。

**問** 次期改定について検討事項、利用料2割3割負担の対象になる人数を問う。

**答** 現在の基準における本庁の2割負担の該当者は約20名、3割負担の該当者は約15名となっている。



石河 ルイ 議員

**問** 要介護1人の保険から外し、介護予防・日常生活支援総合事業に移行した場合の対策は。

**答** 関係機関との連携により地域包括ケアシステムの体制強化を図ることとする。

## 旧飯坂小の利活用の計画について問う

**問** 改修費、福島再生加速化交付金活用について、詳細は。

**答** 6億7300万円、事業費の4分の3は福島再生加速化交付金、残額は震災復興

特別交付税について措置される。

**問** 持続的な安定運営の見通しは。

**答** 行政責任の確保に留意する。機能ごとに直営、委託、指定管理等の方法を判断する。

## 町道の改修促進を

**問** 要望があった箇所数、改修途中箇所数、完了箇所数、進捗状況を問う。

**答** 要望箇所数262件、完了箇所数157件、未着手箇所86件約7割が完了となる。

**問** 土木関係の予算を推進する考えはあるか、問う。

**答** 将来負担になる起債の部分については、抑えながら予算を組んでいる。

# 町内小児科閉院後の 対応を問う

答 医師会等へ小児科確保を要望済み



菅野 信一 議員

**問** 町内小児科が閉院するが、町民生活への影響をどう捉えているのか。

**答** 町内小児科の存在は、子どもたちやその保護者の大きな安心であり、その存在が欠けることは、子育て世代にとって大きな影響を与えると推察する。

**問** 医師会等への要望の内容は。

**答** 医師会等に対し、医師（小児科）不足について広域的な医師並びに医療体制の確保に関する連携の強化を要望し、今後も継続して協議していくことを確認した。

**問** 県地域医療計画の中の地域医療構想調整会議で要望する機会は。

**答** 県医療審議会の下に、県北地域医療構想調整会議があり、そちらで地域医療の体制確保を要望している。

**問** 衰退する地域医療をどの



ように維持していくのか。

**答** 地域医療体制の確保は町も重要な課題と認識をしている。今後は済生会川俣病院を対象とした補助金交付事業や、町内医療機関に就労する医療従事者を対象とした支援金交付事業の取組に加え、医師会等関係機関と協力、連携を図った取組を進めていく。

## 川俣町貸事業所の 開所を質す

**問** 入居者の応募状況は。

**答** 2月28日現在、貸し

オフィスの申請相談は3件、チャレンジショップは5件である。

**問** 今後の募集の在り方についてどうするのか。

**答** 今後、随時募集を考えてはいるが、例えば1か月ごとに区切って募集し選定するとか、そういった方法も含めて継続して募集していくことを検討している。

## 川俣高等学校への 支援を問う

**問** 学生寮の定員を超える場合は。

**答** 川俣町学生寮壁沢学生寮の定員は6名。新年度の学生寮への入寮希望者は確定していないが、入学する生徒の生活に支障が生じないように調整し、入寮生の安定した生活の場となるよう環境を整えていく。

# 旧飯坂小学校利活用に関して問う

答 最終的な改修の姿、運用を丁寧に説明する



藤原 正 議員

**問** 町がコンセプトする町内外の交流を促進する施設となりうるか問う。

**答** 地域の方々からの要望をもとに観光体験交流、移住定住に要する施設としてのコンセプトを取り入れ、小学校に代わる新たなシンボル施設となるよう整備を進めていく。

**問** 地域住民への説明の機会は今後どうするのか。

**答** 地域住民の方々には要望にそくした方向性で校舎の利活用を進めていく。施設の運用についても地域の皆様に協力いただく部分などが出てくると考えているため、その辺も含め丁寧に説明していく。

**協力企業と連携したスポーツ交流事業は**

**問** 本町の移住定住の促進に寄与する施設となるのか。

**答** 協力企業が立ち上げるバドミントン実業団が当該施設を練習拠点として利用する。

選手育成を通じた関係人口の創出。学生を対象とした合同合宿の実施など、移住・定住に関する公民連携した事業を計画している。

**問** 既存の宿泊施設や交流館と連携するやり方もあるので。

**答** 既存の施設はスポーツも含め子ども会のイベントなどや客数などの条件がついている。旧飯坂小についてはバドミントンがメインでありスポーツと宿泊もセットになりますから、他施設との棲み分けはできると考える。



**将来に向けた維持管理はどうするのか**

**問** 旧校舎施設の維持管理、今後の交流人口の拡大など協力企業との連携は。

**答** CRSスポーツとの協議では細部まではまだ詰めてはいないが、管理運営のところをCRS側ときっちり詰めてより効率、効果的な施設運営ができるよう考えていく。

**国道349号線の改修状況は**

**問** 国道349号線の飯坂地区における改修状況は。

**答** 東清水地区から飯坂、小島地区において損傷が著しい箇所を早急な補修を県に要望している。今年度は小島地区において繰越事業として実施すると伺っている。飯坂地区においても継続して予算を計上し本格的な補修を実施する。

# 自主防災組織の積極的な推進を

答 各地区で進展するように努める



問 当町の自主防災組織はなぜ進展しないのか。

答 周知や広報が行き届いていないこともあるかと思われるため、今後ますます住民の意識の醸成を図り、地域における相互扶助による防災活動の必要性を認識していただき、自主防災組織づくりが各地区で進展するよう、引き続き努めていく。

問 マニュアルは出来ているのか。

答 各地区におけるコミュニケーションの態様は様々であり、各地区の地理的狀況も様々であることから、新たな自主防災組織の設立については、県

の担当課と連携し、協力をいただきながら進めていきたいと考えている。

## 貸事務所について問う

問 ランニングコストはいくらに推定しているのか。

答 年間1900万円程度算措置を行っている。

問 チャレンジショップや貸事務所、宿泊所があるが、年間の収益はいくらに推定しているのか。

答 宿泊施設であれば稼働率、コワーキングスペースの利用率などを積み上げて、積



蓮沼 洋志 議員

算している。約600万円ほど見込んでいます。

問 チャレンジショップについては5件の申請があるようですが。

答 町内の特産品を使って山木屋地区に貢献できる様な設定にしている。

## 交通安全対策について問う

問 16歳以上の自転車乗用車の違反者に青切符が導入されるが、その対策は。

答 今月の広報において、

川俣分庁舎だよりの回覧を行ったところである。通学の関係で自転車を利用するのは学生が多いため、学校に対し学生への周知について連絡を行っていききたい。

問 県内の飲酒運転の検挙者が、22年、23年に全国ワースト3に入る多かったとあり、その対策は。

答 町交通対策協議会に町内の事業所や団体が関わっているの意識を同調してさらに年末の時期には啓発活動を行なっていく。川俣分庁舎でも、飲酒検問や取り締まりを強化中である。

## なりすまし、ロマンス詐欺被害増大

問 投資ロマンス詐欺、なりすまし詐欺の被害が増加しているが、対策は。

答 昨年10月に消費者トラブル対策ブックを全戸に配布して注意喚起を促している。

# 財政の将来見通しを問う

**答** 将来に負担が増えない様に進める



**問** 将来の財政と照らし合わせた時に、今の現状のまま行っても大丈夫なのか。

**答** 将来も含め、財政調整基金を継続的に取り崩していくような財政運営は、将来的に大きな課題となり得るものと認識している。そのため、削減可能な経費については着実に見直しを行い、歳出の抑制を図るべきところは適切に抑制し、持続可能な財政運営に努めて行く。

**安定的な人材確保に向けた取り組みを**

**問** 多様な働き方の提示や若手職員のキャリア形成支援を

進め、人材を最大の資源と捉え、情熱を持って町政に取り組める体制づくりが重要ではないか。

**答** 震災前の採用制限の影響により、現在、職員の年齢構成に偏りが生じている。そのため、令和6年度からは社会人経験者の採用を明確に進めるとともに、専門性の高い分野については任期付職員の採用により対応している。

**問** 人材を単に割り振るのではなく、各部署の必要人材をリスト化した上で計画的に募集すべきではないか。

**答** 退職者が多く、現在、通常の人員配置にも苦慮して



藤野 圭史 議員

いる状況にある。今後は、そうした状況も踏まえ、各部署の必要人材を見据えた計画的な採用に取り組んでいきたい。

**問** 退職者の増加を抑制するため、職員の研修や人事評価制度の取組について、現在どのように対応しているのか。

**答** 研修等を実施するとともに、人事評価制度を活用しながらマネジメント能力の向上に努める。また、職員との円滑なコミュニケーションの確保にも取り組んでいる。

これまでDX化・業務効率化をした実績は

**問** デジタル化によって効率化や削減が図られた業務内容や業務量を把握することは非常に重要であると考るが、どのように把握しているのか。

**答** 現在、まず、デジタル化を進めているという段階で、時間や業務の削減が出来たかという視点は今後も十分考慮して進める。



# 活動報告

3月10日、定例会会期中の常任委員会では、それぞれ所管の事務調査を行いました。

総務

産業

常任委員会

総務産業常任委員会は、飯坂地区の林道や森林整備状況等の現地確認、役場庁舎屋上の修繕箇所の確認等を行った後、委員会に付託された陳情2件の審査を行いました。



▲ 役場庁舎屋上を調査



厚生文教常任委員会は、陳情3件の審査の後、町合宿所おもてなし向上事業として行われている「チームとれんぴあ」による町食材を使った郷土料理の試食等を行いました。これらの料理（昼食）は、令和8年度からとれんぴあ利用者に提供が開始されています。

厚生

文教

常任委員会

# 議会活動報告



1月

- 4日 川俣町消防団出初式
- 5日 仕事始め式（議長）  
川俣町職員親和会新年会（正副議長）
- 7日 東京電力株式会社社長来庁（議長）  
新春交歓会
- 8日 広報編集常任委員会
- 9日 議会運営委員会  
交通安全祈願祭及び交通安全を語る会（議長）
- 11日 20歳のつどい（議長）  
山木屋地区新春のつどい（副議長）
- 15日 総務産業常任委員会、厚生文教常任委員会  
議会運営委員会、全員協議会  
広報編集常任委員会
- 16日 農業委員会認定農業者懇親会（議長）
- 17日 福沢自治会新年会（議長）
- 20日 第1回議会臨時会、広報編集常任委員会
- 26日 議会運営委員会  
浪江町議会議員報酬等調査特別委員会視察受入
- 29日 川俣町商工会新年会（議長）
- 30日 福島県消防協会川俣支部懇談会（議長）
- 31日 川俣町建設同業会新年会（議長）

2月

- 7日 町スポーツ協会表彰式（副議長）  
川俣町と近畿大学の連携・協働による震災復興フォーラム（副議長）
- 9日 福島県後期高齢者医療広域連合議会運営協議会・定例会（議長）
- 13日 全員協議会、議会運営協議会
- 15日 大綱木新春交流会（議長）
- 16日 川俣方部衛生処理組合議会全員協議会・定例会
- 22日 第6分団消防屯所落成祝賀会（議長）

3月

- 24日 総務産業常任委員会、厚生文教常任委員会  
町民との懇談会
- 27日 議会運営協議会、全員協議会  
東楯会新年会（議長）
- 1日 川俣高校卒業証書授与式（副議長）
- 5日 予算決算常任委員会、総務産業常任委員会  
厚生文教常任委員会
- 6日 厚生文教常任委員会  
川俣ふくしん会新年会（議長）
- 8日 スプリングフェスタ in ふくざわ（議長）
- 10日 総務産業常任委員会、厚生文教常任委員会
- 11日 予算決算常任委員会
- 12日 予算決算常任委員会
- 13日 川俣中学校卒業式、山木屋中学校卒業式  
予算決算常任委員会
- 15日 いきいきふれあい大会（議長）
- 16日 予算決算常任委員会
- 17日 予算決算常任委員会
- 18日 かわた認定こども園卒園式  
議会運営委員会、全員協議会
- 21日 川俣小学校卒業式、山木屋小学校卒業式
- 24日 伊達郡町村議会議長会議（正副議長）
- 26日 川俣シャモまつり実行委員会懇親会（議長）
- 27日 伊達地方消防組合議会全員協議会・定例会
- 30日 伊達地方衛生処理組合全員協議会・定例会

3月5日～19日は第2回議会定例会開催



今後も町民との  
対話を進めます!

# 自治会連絡協議会と 議会との懇談会を実施

## 第3回目の町民との懇談会

町議会は2月24日、「川俣町自治会連絡協議会と議会との懇談会」を実施しました。

この懇談会は、町議会が進める議会改革の取組の一つである「議会への住民参加」を推進するため、議会の仕組みなどを少しでも町民のみなさんに知ってもらうために開催しているもので、町女性団体連絡協議会、町商工会との懇談会に続き、第3回目の開催となります。

当日は、町自治会連絡協議会から12名の方に出席いただき、議会の概要説明や事前質問への回答ののち、議員と懇談しました。

出席者からは「議会活動の具体的な成果は」「議会議員になって実際にはどのように感じているか」などの質問のほか、「議会だよりの一般質問のページが半分になり内容が分かりづらくなった」「議員には日ごろから町民の様々な声を聞き、政策に反映してほしい」等の意見もいただきました。今回いただいた貴重な意見は、今後の議会の取組に生かしてまいります。

今後も定期的にこのような機会を設け、議会についてみなさんに知っていただく場を増やしていけるよう取組を継続してまいります。

令和8年2月24日実施



議員が町の『いま』を取材してお伝えします！

# TOWN まちれぽ No.19 REPORT

## 第19回

### MORE SMILE cafe (モア・スマイル・カフェ)

代表者：谷口 豪樹

住所：字瓦町 オリナスかわまた内

営業時間： 9:00~16:00 カフェ・ドリンク

11:00~14:00 ランチ

営業日：月~金 ※今後土日営業も検討



どんな  
お店ですか？

山木屋のスマイルファームのことをもっと知ってほしい、町に人を呼び込み交流の場を作りたいとの思いで開店しました。来た人がもっと笑顔になってほしいという願いを店名に込めました。



おすすめ  
メニューは？

数量限定のスマイルファームの苺を使用した「スマイル苺パフェ」です。ランチは現在、国産若鳥の唐揚げプレートのみですが、今後、町内産の野菜を使ったメニューを増やしていく予定です。

今後の  
展望は？

3名でのオープンですが、徐々にメンバーを増やし営業していきます。それぞれアイデアを持ち寄り、今後のメニュー作りに反映していきたいです。SNSを中心とした発信、集客にも力を入れていきます。



藤原 正 議員

### 取材した議員からひと言

店内の棚には朝摘みイチゴがきれいに陳列、スタッフの笑顔での対応に、こちらももっと笑顔に。昼時には客入りも盛況。ランチプレートはオリジナルイチゴドレッシングが地元

の野菜をより美味しく引き立て、私も思わずさらに笑顔に。このお店が交流人口増加の拠点づくりに一役買えることを願っています。皆さんもぜひ一度お立ち寄りください。

# Voice

町民の声



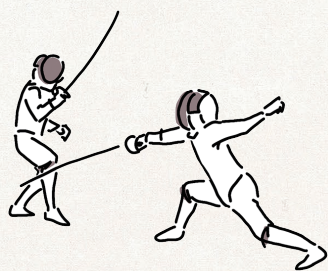
川俣町の明るい未来のために私たちができること

東福沢 齋藤 貴広さん

**私**がフェンシング競技と出会ったのは、1988年、小学5年生の時でした。1995年に開催されたふくしま国体のフェンシング競技会場が川俣町に決定したことを契機に、強化選手プロジェクトのスポーツ少年団一期生として競技を始め、現在に至ります。現在は川俣高校の部活動指導員および川俣町フェンシング協会副会長として、仕事を持ちながら活動を続けております。

私たちがフェンシングを通して川俣町の未来を明るくするためにできることの一つは、技術向上だけでなく人間力の育成です。集中力や判断力、礼儀作法を養うこの競技は、将来を担う人材育成につながると考えています。また、地域との交流と地域貢献も大切な役割です。川俣町大会には県外や海外から多くの選手や関係者が集まり、地域の魅力発信や経済活性化にも寄与しています。

このようにフェンシング競技は、互いに剣を交えるその一瞬一瞬が、人と人をつなぎ、地域全体を育て、川俣町の明るい未来を切り開く大きな力を持っていると私たちは信じています。



- ◆ 広報編集常任委員会
- 委員長 菅野清
- 副委員長 山家恵子
- 委員 藤野圭史
- 委員 藤原正
- 委員 菅野清
- 委員 菅野清
- 委員 菅野清
- 委員 菅野清

大震災、原発事故から15年、30兆円40兆円と莫大な投資が行われてきたが果たして復興はしたのだろうか。震災以降、福島県の人口は30万人も減少し、川俣町も震災後5000人が減少した。除染に1000億円、復興事業に合計350億円を投じたが人口は減る一方である。復興事業とは新しい産業の創出である。従来のような産業にはお金を出さない仕組みである。復興という名のもとに大型公共事業や大規模開発で大手企業は潤ったが被害を受けた個々の生活再建は遅々として進んでいない。今こそハード事業からソフト事業への転換が求められる。行政はこのことを念頭に事業を遂行すべきである。

菅野清一 委員長

6

月議会傍聴のご案内

6月4日(木)～10日(水)は  
6月定例会を予定しています。

みなさんの傍聴をお待ちしています。  
議会ホームページからライブ中継、録画配信もご覧いただけます。



## 第3回 (令和8年2月27日) 全員協議会レポート 旧飯坂小学校の利活用計画等について説明を受ける



現在、町が進めてい旧飯坂小学校の利活用計画について、CRSスポーツ工業(株)と包括連携協定を締結し連携等を含め進めていくという説明を受けました。

### 議員からの意見



- ・地元住民等への説明は早急に行うべきではないか。
- ・まだ検討事項が多い中で事業を進めて将来の町民負担とならないか。
- ・本当にここまでの施設が必要なのか。
- ・ランニングコストが想定以上だった場合、改修を止めることはできるか。

議会では、今後も同事業の進捗状況等について随時説明を求め、様々な観点から意見し、町民の将来の負担増とならないよう行政の監視に努めてまいります。

## 編集後記

